



## 知っておきたい環境キーワード

### 「再生可能エネルギーの固定価格買取制度」

日本のエネルギー自給率をご存じでしょうか。2008年時点で18%（平成22年度エネルギー白書）とされていますが、これは「原子力を国産エネルギー」とした場合で、原子力を除いた自給率はなんと「4%」しかないのが現状です。

平成23年8月、標題の固定価格買取制度の法案（電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法）が可決され、平成24年7月から施行されることになりました。今回はこの制度の概要をご紹介します。

#### 制度の趣旨

再生可能エネルギーによって発電した電気を、一定期間、一定の価格で電力会社買い取るよう義務づけることにより、再生可能エネルギーの導入拡大を促進する。

#### 【再生可能エネルギーによる発電設備を導入する立場から】

- ・ 買取対象となる再生可能エネルギーは「太陽光（業務用）」「風力」「中小水力（3万kW未満）」「地熱」「バイオマス」の5種類。
- ・ 買取対象は発電量全量。ただし、住宅用太陽光は引き続き従来制度により余剰電力のみの買取。
- ・ 買取価格と買取期間【詳細検討中】  
第三者委員会が検討・決定予定。エネルギーの種類・設置形態・規模に応じて毎年設定される。
- ・ 制度開始後三年間はプレミアム価格（少し高い価格で買取）。
- ・ これから設置される設備のみを対象。



太陽光



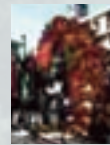
地熱



バイオマス



風力



中小水力

#### 【関連機器サプライヤーの立場から】

- ・ 再生可能エネルギー発電設備関連機器の需要拡大が見込まれます。  
特に、業務用太陽光関連は工場立地法の規制緩和、一定規模未満の建築確認の不要化、電気事業法上の保安規制の緩和など規制緩和も進む見通しで、大規模設置が加速します。
- ・ 再生可能エネルギー、特に太陽光発電は出力が不安定なため、出力の安定化対策関連の機器や、スマートグリッド関連機器の需要拡大が見込まれます。

#### 【電力を使う全ての事業者】

- ・ この制度により必要となる追加的費用については、電気料金と合わせて「賦課金（サーチャージ）」として電気の利用者が負担することになります。
- ・ 「賦課金」の額は、前年度の買取実績を基に国が定め、全国一律となります。
- ・ 東日本大震災の被災者に関しては賦課金が免除されます。なぜか「大量のエネルギー消費事業者（一部の大企業）」も減免される制度になるそうです。

再生可能エネルギー発電の普及は、「買取価格・買取期間」がどう設定されるかで大きく左右されます。これらは、平成23年度内に決定される予定です。

「導入する立場」や「関連機器サプライヤー」でなくても、この制度は他人事ではありません。今後「賦課金」負担軽減のためにも、節電の取り組みは一層重要性を増してくることになりそうです。

## プラス株式会社「プラスランド」の環境への取組

国内有数の文具・事務用品、オフィス家具メーカーであるプラス株式会社は、群馬県粕川村出身の今泉進二郎氏（現会長・社長の父）と進二郎氏の義弟・鈴木報平氏が1948年に設立した千代田文具株式会社が前身です。1959年にプラス株式会社に商号変更し、卸販売からメーカーへと発展する中で、「アスクール」に象徴される独自の流通サービスも開発しています。1991年、前橋市大屋町、泉沢町、西大室町にまたがる約14万坪の敷地（現前橋市神沢の森）にオフィス家具工場を核とした産業複合施設「プラスランド」を開設しました。

昨年末、プラス株式会社プロダクション本部清水政幸本部長にインタビューさせていただきました。



プロダクション本部  
清水政幸本部長

### 緑の森から高品質の商品供給を目指して

～ロケーション、プロセス、製品すべてグリーンに～

一本日はご多用のところ、取材にご協力いただき、ありがとうございます。まずは、プラスランドの概要について教えてください。

清水：いくつかの候補地の中から、（特に創業者ゆかりの地ということではなく）物流効率の良さを評価して現在地に1991年4月にオープンしました。「緑の森から高品質の製品供給」を目指して、46万㎡の敷地の中にオフィス家具工場をはじめ、物流センター、オフィス、研修施設などがバランスよく配置されています。当初桑畑だったところに58種類3万本以上を追加植樹した「プラスランドの森」には多くの野鳥のほか、イタチやタヌキも生息しています。全敷地の3分の1以上が緑地となっており、2007年には「緑化推進運動功労者内閣総理大臣賞」を受賞しました。

—ISO14001の認証を受けておられますが、環境保全活動の内容について教えてください

清水：ISO14001は2000年に取得し、環境方針には「1R+3R」、重複行為の排除による「環境最適」を目指すことを掲げて取り組んできました。いわゆる3Rに加えて、事業構造の見直しにより環境負荷削減を図る「リストラクチャー」のRを掲げて取り組んでいます。

—「重複行為の排除」とは、具体的にはどのようなことを指しますか。

清水：多段階物流の簡素化ということで、私どものオフィス家具製品配送で申し上げれば、製造、卸、小売の各段階に在庫を持たず、製品は工場からお客様へ直送しています。そうすることで、時間短縮やコスト削減が図れ、配送時に排出されるCO<sub>2</sub>の低減にもつながります。

—環境対応製品の開発についてはどのような取組みをされていますか。

清水：原材料調達から製造、流通販売、使用後の回収・リサイクルという製品ライフサイクルすべてにおける環境負荷の最小化を目指しています。例えば、XF（エクセフ）シリーズにおいては、オフィスの用途や人員の変化に対応可能なロングライフ設計を採用しています。また、単一素材を積極的に採用し、パーツ同士のジョイントをシンプルにすることで、分別しやすい設計となっています。有害物質については、協力会社を含めて環境資材調達ガイドラインを基準としています。

—3Rの取組みについてはいかがですか。

清水：廃棄物については、オフィスごみの14分別、カフェテリアからの食物残渣の堆肥化や、電子マネー導入による食券廃止等により可燃ごみを削減しています。木製工場からの木くずは集塵機で回収し、空気は空調に再利用、木くずは固めて牛舎の敷き料に利用し、利用後は堆肥化しています。

さらに、グループ企業のプラスロジスティクス社が運営するMRS（マテリアル・リバース・システム）事業では、不要なオフィス家具をお預かりし、週1回のオークションで200社ほどのリサイクルショップに販売しています。買い手がつかない製品、損傷が激しい製品は分解し、マテリアルリサイクルしており、全体で98%以上の高いリユース・リサイクル率を達成しています。

—省エネルギーやCO<sub>2</sub>削減への取組みはどんな状況でしょうか。

清水：蛍光灯安定器40灯を反射板付き1灯型省エネタイプに変更したことにより、1灯あたり85wから47wに削減され、CO<sub>2</sub>排出量が年間1.7t削減できました。さらに、2011年度からESCO事業を導入し、蛍光灯・水銀灯2624台を反射板付きHf蛍光灯及びLEDなどの高効率照明2232台に変更しました。これにより年間消費電力は62万kwhから51%減の30万kwhとなり、CO<sub>2</sub>排出量は123t削減される見込みです。また、白熱灯199個を蛍光灯タイプに変更し、年間CO<sub>2</sub>排出量を4.8t削減しました。そのほか、蛍光灯の間引きやデスクライト導入、不使用箇





所の消灯などを実施しました。こうした対策により照明器具全体からの年間二酸化炭素排出量を51.9%、140 t 削減できる見通しです。これは、プラスランド全体の二酸化炭素排出量の3.2%に相当します。

### 一照明器具の対策によって職場が暗くなってしまったということはありませんでしたか。

清水：むしろ照度は向上しました。灯数は少なめに設置したのですが、それでも当初は明るすぎるとの声があり、間引きしたほどです。

### 一そのほかにこの夏の節電対策として取り組んだことはありますか。

清水：パソコンの電源は昼休みや長時間席を離れるときにはオフまたはスタンバイモードにするよう徹底しました。また、日中のピーク時間はノートパソコンをバッテリー駆動させてピークを下げるようにしました。空調の設定温度は当然冷房28℃、暖房20℃としています。

さらに、工場の稼働時間を1時間繰り上げ、一部の製造ラインを夜間へシフト、土曜日を稼働させて月曜日を休日とするなどの対策でピークシフトに協力しました。

### 一社員教育や地域活動についてはどんな取組みをされていますか？

清水：社内用Eラーニングを実施し、社員の知識と環境意識を高めています。また、場内アイドリングストップや前向き駐車などの徹底、6月～9月末まで週末の一斉清掃などに取り組んでいます。

地域活動としては、敷地内を流れる神沢川周辺の環境を守るため、「神沢川クリーン計画」として毎年清掃活動を実施しています。今泉社長はじめ社員約200名に加え、前橋市役所や近隣自治会の方々にもご協力いただいてこれまで18回実施してきました。昨年は残念ながら震災の影響で中止せざるを得ませんでしたが、今後も継続していきます。

### 一文具・事務用品メーカー、サプライヤーとして、製品開発や販売においてはグリーン購入への取組みが進められていると思いますが。



笠原義紀部長



齊藤慎也課長

清水：文具、オフィス家具、ミーティングツールのメーカー部門ではそれぞれ環境配慮について様々な取り組みをしております。ファニチャーカンパニーが現在注力するKTG(高品質・低価格・グッドデザイン) 戦略では、KTG製品群を拡充、2012年発売の新製品を加え11シリーズ完成し、今後も毎年ラインナップを増やしていく予定です。高品質でグッドデザインの製品をお客様のニーズにマッチした価格帯で提供することで長く大切に使用していただけたらと考えています。その一方で、材料の共通化と軽量化によってコストを抑えています。使用原材料の削減によって環境負荷も削減できますが、強度を保つための工夫が求められます

### 一以前は環境配慮製品は高いというイメージがりましたが、一般品との価格差はいかがですか。

清水：最近では、ほとんど価格差はありません。というよりも、新しく市場に投入される製品は環境配慮製品であることが標準となる傾向が強まっていると感じています。

### 一グリーン購入比率の向上に取り組む事業者(購入者)に対する情報提供サービスはどのようになっていますか。

清水：一例ですが、弊社の流通カンパニーであるジョイントテックスカンパニー(全国文具販売店へオフィス用品及び関連サービスを卸売)が展開するオフィス用品購買サービス「スマートオフィス」カタログで購入いただいた製品については、「環境配慮製品購入レポート」として、インターネット上で過去1年間の環境配慮製品の購入状況を金額または数量ベースでデータ提供しています。購買担当者がわざわざ計算しなくてもグリーン購入比率を把握することができるようになっていきますので、ぜひ活用いただきたいと思います。

### 一最後に今後の抱負をお聞かせください。

清水：緑の多いプラスランドの環境をどう維持していくかが課題です。例えば川への落ち葉も放置しておく環境が悪化するため、ネットをかけて取り除いています。また、枝打ちを適切に行って風通しを確保することも必要です。地元との連携・協力を大切にしながら継続していきたいと思えます。

製品開発においては、お客様や世の中に役に立つ製品やサービスの開発に力を入れていきます。

そのために現在は、KTG製品をテーマにした開発を進めています。

### 一これからも環境と経済の好循環のため、プラスさんの本業での環境貢献を期待いたします。また、環境GS認定制度への登録もぜひお願いいたします。本日はありがとうございました。

清水：新年度に登録させていただきます。

インタビュアー：片亀 光

## ニチレイ設備株式会社



認定番号 180156  
 住 所 前橋市亀里町246  
 電話番号 027-265-4371  
 従業員数 8名  
 事業内容 管工事業  
 代表者 丸山紀久雄  
 GSマネージャー 丸山みね子  
 サブマネージャー 高橋秀治

### わが社の一押し

冷暖房設備工事、給排水・衛生設備工事を行っている会社です。節電、省エネなどは日常の中で出来ることから行っております。作業現場移動方法も車両の乗り入れを最小限に抑えるようにし、なるべく現場をまとめ車での移動距離を減らす取り組みなど行うことで、燃料の使用削減につながっています。節電に関しては、倉庫などの電気はこまめに切るよう心掛けています。

### 現場からひとこと

節電や省エネなど、特別にすごいことをしているわけではないのですが、環境問題に関心を持ち、環境を良くしようという問題意識を持って、何が出来るか考え、出来ることから一歩ずつ取り組んでいこうと思います。

Gunma Standard

## 株式会社 土田商店



認定番号 180313  
 住 所 沼田市西原新町81  
 電話番号 0278-22-2626  
 従業員数 2名  
 事業内容 酒類販売業  
 代表者 土田文代  
 GSマネージャー 土田文代  
 サブマネージャー 土田良子

### わが社の一押し

片品地区等への配達には共同配達システムを実施しています。一緒に共同配達を行っている会社が親類の会社であり、これは条件が整うことで実施できますが、共同配達を行うことで車の燃料の削減につながっています。レジ袋の削減もポイントサービスを行うことで少しずつではあるが成果が上がっています。店の前では廃油回収も行っています。

### 現場からひとこと

かけがえのない地球を守るため環境保護、CO2削減など「できることを一歩ずつ」と考えています。お客様との会話の中でも少しでも啓蒙的なことができればいいと思います。CO2は出す方でも「塵も積もれば山」削減でも「塵も積もれば山」です。CO2の削減はあきらめずに続けていきたいです。また、毎年、環境GS推進員派遣を利用し1年間の成果の検証など行っています。

Gunma Standard

## シャディサラダ館さくら通り店



認定番号 180339  
 住 所 桐生市広沢町1丁目2930  
 電話番号 0277-55-5575  
 従業員数 5名  
 事業内容 ギフト商品等の販売  
 代表者 菅谷雄士  
 GSマネージャー 菅谷雄士  
 サブマネージャー 森美由紀

### わが社の一押し

ギフト商品等の販売を行っております。地球温暖化防止の取り組みとしては、店内の節電や空調の管理、車の運転もエコドライブを心がけています。現在は外看板の電灯は使用しておりません。温暖化防止の取り組みについては、ご来店いただくお客様にも考慮しながら、バランスを考え節電等できることから行っております。

### 現場からひとこと

商品は温室効果ガス排出量が少ない製品の販売、リサイクル、エコ商品の積極的な販売を行っており、可能な範囲での包装の簡素化にも取り組んでいます。また、店頭へ環境GSの認定証を掲示しており、興味のあるお客様には環境GS認定制度やその取り組みをお伝えしております。これからも、ギフト商品の販売を通してお客様と共に地球温暖化防止の取り組みを推進していきます。

Gunma Standard

## 株式会社 松村機械製作所



認定番号 190488  
住 所 太田市新田小金井町278-1  
電話番号 0276-57-2060  
従業員数 48名  
事業内容 自動車部品製造  
代 表 者 根岸澄子  
GSマネージャー 長古川仁章  
サブマネージャー 杉村精考

### わが社の一押し

パイプ端末加工機、小型風力発電機の販売、パイプ部品加工メーカーとして環境問題も視野に入れた「環境に優しい企業」を目指しています。国内で初めて低風速から発電可能な高性能小型風力発電機の量産化を始めました。また、廃棄物分別の徹底でゴミを出さない取り組みなどを行っています。

### 現場からひとこと

自社駐車場に、風力発電機とソーラパネルを活用しLEDサイン灯を設置しています。昨年の計画停電時にも夜間、点灯し真っ暗の中、点灯している照明は地域の人に安心感を与えたようです。また、その灯りが再生可能エネルギーの有効性をアピールできたのではないかと思います。

Gunma Standard

## 株式会社 オオガネホーム



認定番号 190534  
住 所 沼田市鍛冶町947  
電話番号 0278-22-2939  
従業員数 5名  
事業内容 住宅建築  
代 表 者 代表取締役 大金泉  
GSマネージャー 代表取締役 大金泉

### わが社の一押し

地域に根ざした工務店、職人の技で子孫の代まで快適に暮らせる家づくりを行っています。それは、家族が健康に暮らせる家であり、環境に負荷をかけない家づくりとなります。地産地消を推進することで輸送コスト、エネルギーの削減にもつながります。事業、活動のあらゆる面において環境に配慮した行動を実践しています。

### 現場からひとこと

薪ストーブの会、住まい人の会、チルチンびと「地域主義工務店」などイベントを開催し地域交流を通し環境活動を積極的に行っています。イベント等では、二酸化炭素の排出を抑える薪ボイラーや薪ストーブを使った再生可能エネルギー利用の促進を図る他、地域の素材で作ったエコ住宅ではエネルギーの自給自足を目指しています。

Gunma Standard

## 大杉運輸倉庫 株式会社



認定番号 180249  
住 所 館林市近藤町178-166  
電話番号 0276-72-0002  
従業員数 45名  
事業内容 貨物自動車運送事業  
(60東陸自貨1物第1161号)  
代 表 者 大杉康弘  
GSマネージャー 正田健一  
サブマネージャー 渡辺正悦  
サブマネージャー 吉田澄代

### わが社の一押し

「物流」を担う会社として、やはり「輸送」に携わる分野で「環境」には大きく関わっています。当社では「天然ガス」を燃料とするトラックの導入、業界の環境認証「グリーン経営認証」の取得、全車「ドライブレコーダー」装着等、館林地区の同業ではいち早く環境対策に取り組んで参りました。特に「ドライブレコーダー」の導入は、日々の運行状況の「見える化（燃費データ等）」を可能にし、全社員が何をすべきか即時に把握して、CO<sub>2</sub>排出抑制等にも役立っています。

### 現場からひとこと

これらの行い等が認められ、昨年は館林市より「館林市環境賞（地球環境部門）」の顕彰をいただきました。この荣誉に甘んじることなく、今後もより一層の精進をしていきたいと思っております。現在「輸送」分野だけではなく、社内に関する全ての事柄の環境改善にも全力で取り組んでいます。一例として、昨年構内の作業現場の一部に「LED蛍光灯」をレンタル導入しました。その模様はTBSテレビの「みのもんたの朝ズバッ！」でも紹介されました。

Gunma Standard



# ワンポイント アドバイス

## ONE POINT ADVISE

環境GS  
推進員



今回は、  
浦辺 章さん  
からのアドバイスです。

### 地球に優しく自分に優しく

私たちの生活は化石燃料の大量消費によって支えられています。そのため大気中の二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）は産業革命以前の約1.3倍にもなり、このまま進めば最早取り返しのつかないところまで来ています。

21世紀末には平均気温が2.4℃～6.4℃上昇し、海面上昇は26cm～59cmにもなるといわれています。

「今こそ大事なり」という言葉があります。二酸化炭素排出抑制に関して私たちにできることをどんな小さな事でも良いから始めましょう。

例えば太陽光発電などもその一例でしょう。今、設置をお考えの方がおりましたら我が家のデータをお示いたしますので参考にしてください。

メーカーはサンヨー、出力は4.5kwをのせました。総費用は2,835,000円で、補助金405,000円を差し引き2430,000円となり、1kwあたりは540,000円でした。

平成16年から22年までの7年間の総発電量は43,715kwとなりました。ですから1日あたりは約17kwとなります。

また、日射時間当たりの発電量を調べてみると2.9kw/時間となり、公称発電量の54%に相当します。

この7年間の売電額は762,383円、自家利用額は399,767円です。合計では1,162,150円となり、総費用の48%を回収したことになります。

よく言われることですが全額回収には10年かかるといわれますが、もう少しかかりそうです。しかし、東電の買い取り価格がこのところ上昇しているので、短縮できるかも知れません。

(内需金額は東電からの買電価格に発電量を乗じたものです。)

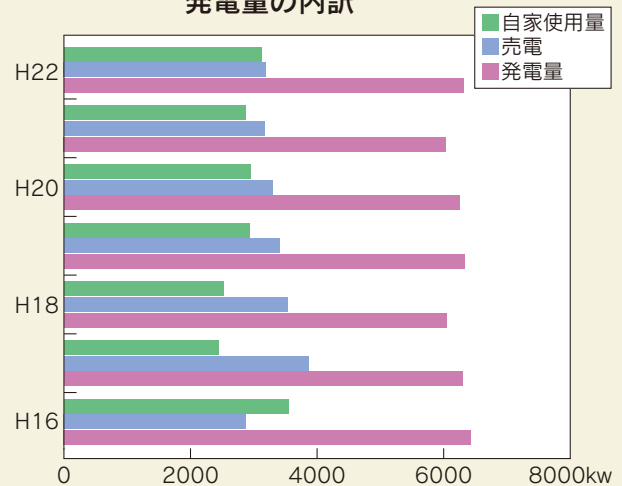
現在の補助金は国が1kw当たり4.8万円、県が2.4万円(上限額8万円)となっています。また、市町村によっては独自の補助金を助成している場合があります。

如何ですか。当初の設備投資には高額を要しますがその後の維持費は一切かからず、また、クリーンであることも大きな特長で、発電の際に地球温暖化の原因とされている二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）をまったく排出しません。

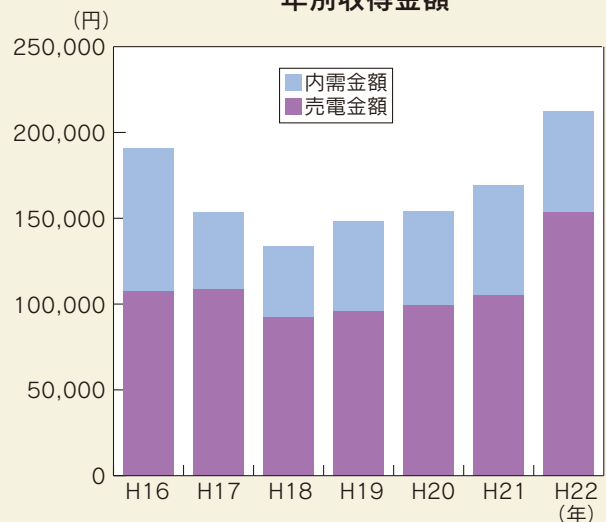
エネルギー資源としての化石燃料のほとんどを輸入に頼っている日本では太陽の光という無尽蔵のエネルギーを活用する太陽光発電は、地球温暖化や年々深刻化するエネルギー資源問題の有力な解決策の一つです。

エネルギー源の確保が簡単で、地球にもやさしい太陽光発電を皆さんも試してみてください。どうか。

発電量の内訳



年別取得金額

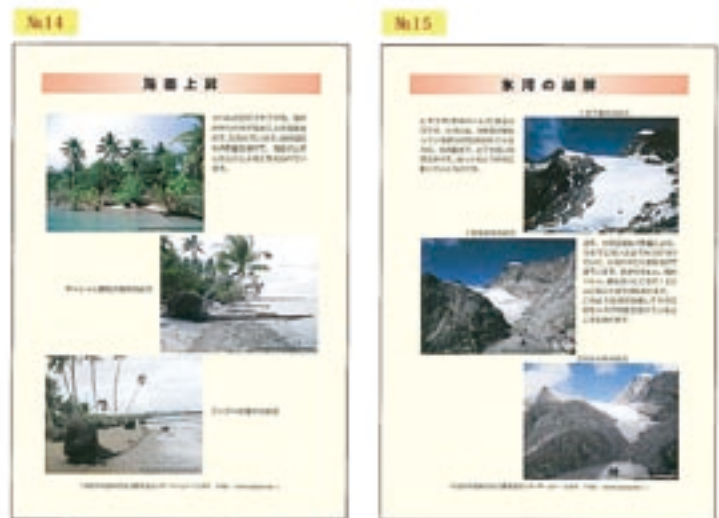


# 群馬県地球温暖化防止活動推進センター (NPO法人 地球温暖化防止ぐんま県民会議)のお知らせ

## 【地球温暖化防止パネル等貸出のご案内】

群馬県地球温暖化防止活動推進センターでは、地球温暖化防止パネル等の貸出を行っています。企業イベントでの環境コーナーへの展示や、環境月間で社屋へ展示するなど貸出をしています。

また、従業員への環境教育実施時にDVDの貸出や温暖化防止出前講座等ご利用いただけます。ぜひ、ご活用下さい。



## 【環境GS推進員派遣】

環境GS認定企業支援事業として環境GS推進員派遣を無料で行っております。ぜひご活用下さい。

### これまでの主な派遣相談

- ①省エネ情報が知りたい。
- ②環境GS認定を受けているが成果が上がらない。
- ③環境GS制度の概要を聞きたい。
- ④環境GS認定の手順や申請書の書き方がわからない。
- ⑤現状把握や目標設定方法、指標の算定方法がわからない。
- ⑥関連企業や組合の会議での環境GSについての説明

### 派遣方法

- ①派遣依頼「環境GS推進員派遣申請書」提出 ・電話・メール・FAXでお申し込み下さい。  
(GSホームページで申請書をダウンロードできます)
- ②環境GS推進員を地区、相談内容に応じてセンターで選定いたします。

**日程調整** 推進員よりご連絡いたしますので日程を調整して下さい。

**派遣実施** 派遣時間は1～2時間程度です。

『環境GS認定制度ホームページ』 <http://www.gccca.jp/gs/>

## 環境GSニュース

### 「GS事業者の横顔」への掲載企業の募集

環境GSニュースでは、毎回「GS事業者の横顔」として環境GS認定事業者の紹介をしています。わが社の一押し、現場からひとこと、写真の掲載をしています。

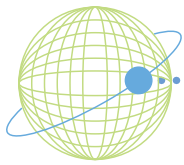
みなさま、ぜひ、環境GSニュース紙面で自社アピールをしてみませんか。

掲載希望の事業者の方はご連絡下さい。

問い合わせ

群馬県地球温暖化防止活動推進センター

ホームページ <http://www.gccca.jp/> TEL 027-237-1103



## 環境GS認定制度が建設工事入札参加資格者名簿審査において加点対象となりました

群馬県建設工事入札参加資格審査<sup>(※1)</sup>において、環境GS認定制度が加点対象となりました。加算点数、条件等は下記の通りです。

加算点数 10点

加算条件 適格審査申請する時点で、環境GS認定を3年継続していること<sup>(※2)</sup>

証明書 「環境GS認定制度認定確認書」<sup>(※3)</sup>

(※1) 県が発注する建設工事に関する一般競争入札および指名競争入札への入札参加資格の認定を希望する場合に、その資格を審査するもの。

(※2) 平成24年の定期受付において条件を満たすのは、平成21年度以前に認定を受け、平成23年までGS認定を継続している場合。

(※3) 環境政策課で発行します。詳しくは県ホームページをご覧ください。

## 「省エネ技術セミナー（入門編）」を開催します

県では、平成24年度に環境GS認定事業者を対象とした「省エネ技術セミナー」実施いたします。「省エネ技術セミナー」では、「空調の省エネ」「ボイラーの省エネ」など分野ごとに技術レベルの高い内容となるため、その入門編として「省エネ推進の基礎」についてのセミナーを開催します。

また、今回は「照明の省エネ」について、省エネのための技術的基礎と省エネ事例の紹介も行います。

来年度の専門性の高いセミナーをスムーズに理解し、効果的な省エネにつなげるためにも、今回のセミナーは重要ですので、是非ご参加下さい。

日 時：平成24年3月2日（金）

前橋会場：群馬産業技術センター 第1研修室 13：30～16：00

太田会場：太田合同庁舎会議用庁舎202会議室 18：00～20：30

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

## 「エコアクション21取得支援事業」を実施しています

県では、エコアクション21認証登録を目指す事業者を支援するため、エコアクション21地方事務局群馬県中小企業団体中央会と共同して「エコアクション21取得支援事業」を実施しています。

この事業は、エコアクション21審査人による無料集合コンサルティングを、今年9月から来年3月までの間に計5回実施し、来春のEA21認証・登録を目指すもので、現在22社が参加しています。

平成24年度においても実施を予定しておりますので、さらなるレベルアップをご検討されてみてはいかがでしょうか。